

あとがき

2006年11月15日水曜日の午後、定員360名の多目的ホールはほぼ満席の盛況でした。本学関係研究者・板橋区職員・学生諸君はもとより、多数の区民や近隣自治体職員の方々の参加を得ることができました。社会が「まちづくりと危機管理」のテーマに大きな関心を寄せていることの現れと受けとめ、今回の「危機管理」研究の責務の重さを感じました。

私たちの社会は阪神大震災以来、地下鉄サリン事件、SARS、9.11 ニューヨークテロ、新潟中越地震、スマトラ大津波、ハリケーン・カトリーナ、能登半島地震などなど、多くの重大危機を体験し見聞してきました。「危機管理」とはこれらの重大危機の生の経験から学んだことを土台に前進すると考えられます。

青山先生の基調講演は、複雑に要因が錯綜する現代社会のさまざまな重大危機に関して、ハリケーン・カトリーナでの2度にわたる現地調査、三宅島噴火における全島避難などの現場経験を織り交ぜ、実にわかりやすく「危機管理とは何か」について課題解決への羅針盤を示すものでした。パネルディスカッションでは、即断即決のトップの判断が危機管理の決め手、普段の地道な努力の積み重ねの有無が危機管理を左右する鍵、的確で素早くそして信頼性のある情報開示が不可欠、自助・共助・公助のそれぞれの役割分担、大都市におけるコミュニティのあり方と危機管理、などの論点が各パネリストより提示されました。

会場発言者とのやり取りを含め、このシンポジウムでは「危機管理とは何か」「まちづくりと危機管理」のテーマに沿って広く明快に議論が展開され、今回の「危機管理」研究の論点と方向性を明確にいただきました。ご参加いただいた方々に深く感謝いたしますとともに、今後さらに関係者との交流を深めつつ、「地域の安全・安心」の向上に少しでも役立つ研究成果をめざす所存です。

(土井 幸平)

第4期 地域デザインフォーラム 第1分科会研究員一覧

中村	昭雄	大東文化大学法学部教授
土井	幸平	大東文化大学環境創造学部教授
湯本	隆	板橋区危機管理室防災課長
谷津	浩史	板橋区都市整備部市街地整備課長
矢嶋	吉雄	板橋区教育委員会事務局生涯学習課長
森下	真博	板橋区危機管理室防災課防災計画係長

地域デザインフォーラム・ブックレット No.18

シンポジウム 「まちづくりと危機管理」

編集 大東文化大学・板橋区地域デザインフォーラム第1分科会

発行 大東文化大学地域連携センター

〒175-8571 東京都板橋区高島平1丁目9番1号

TEL 03-5399-7350 FAX 03-5399-7850

発行日 2007年4月26日

印刷・製本／株式会社 アップル・プレス

古紙100%、白色度70%の再生紙を使用しています（表紙を除く）。

.....